

第39回

国際福祉機器展 H.C.R.2012

「H.C.R.セミナー」を7つのテーマに拡大で参加者延べ4,834人

2012(平成24)年9月26日～28日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 3回目の介護保険報酬改定で職員の処遇が改善、またそれまで2回のマイナス改定が続いていた報酬が前回比でプラス1.2%となる
- 来場者は、一般26%、福祉施設17%、在宅サービス11%、販売業16%、製造業11%の順で企業関係者の来場が増
- 国際シンポジウム「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう」にて高負担高福祉を実現しているデンマークの政府関係者を講師に、同国の福祉政策の考え方、現状と課題、周辺のEU各国の実情などについて報告を受けた
- H.C.R.ホームページでスマートフォン視聴対応を開始、初年度は年間200万ページビューのアクセス



[第39回 ポスター]

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
 来場者数 108,505人
 出展社数 548社：海外14か国1地域58社、国内490社
 ◆東展示場 1～6ホール



国際シンポジウム登壇者



オーレ・ケアー氏
 (デンマーク国税省・税制度検討推進役、元デンマーク国税・関税管理局局長)



近藤純五郎氏
 (弁護士、元厚生労働事務次官)

▶ 「税と社会保障の一体改革」を重要な政策課題とし、医療・介護、少子化などの財源の確保のために消費税引き上げの検討開始

「H.C.R. セミナー」は 7テーマで開催

参加者は述べ4,834人、「はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー」に延べ2,967人、「高齢者むけの手軽な日々の食事～市販の総菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ」に871人、「知っているこんなにも便利！ IT機器の福祉的活用講座」に653人が参加

H.C.R. セミナー

一般、福祉利用者・家族むけ

- ① 腰痛を予防する介護の方法・基本編
青柳佳子 氏 目白大学短期大学部生活科学科専任講師
- ② 有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅等の現状と選び方
小瀬有明子 氏 NPO法人シニアライフ情報センター理事
- ③ 高齢者世帯むけの手軽な日々の食事
～市販の惣菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ
今寿賀子 氏 虎の門病院栄養部部长
押田京子 氏 虎の門病院栄養部副部长
- ④ はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー



福祉職向け

- ① 福祉施設における感染症の知識と対応
安井良則 氏 国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官
- ② 生活保護3兆円の衝撃
前田浩一 氏 NHKスペシャル「生活保護3兆円の衝撃」取材班チーフプロデューサー
- ③ 社会福祉施設等における生きものの活用
～動物愛護から生物多様性保全まで
 - a. 人福祉施設でのセラピー犬の活用
伊藤裕成 氏 NPO法人日本レスキュー協会理事長
 - b. エゾシカの皮の利用を障害者雇用につなげる
菊地貞雄 氏 NPO法人あうるず専務理事

司会進行

(財)地球・人間環境フォーラム



④ 福祉施設で実践されている福祉サービスの創意・工夫の取り組み

1. 危機管理に対する取り組み

- a. 災害時想定訓練 ～食事の安全な提供に向けて 社会福祉法人北慶会 特別養護老人ホーム北野よこび苑
- b. 送迎時の車両事故防止策に固定チームを導入して 社会福祉法人こうほうえん
- c. 男性浴室における事故の減少のための環境改善 社会福祉法人クムレ 障がい者支援施設あしたば

司会進行

柿本貴之 氏 社会福祉法人陽谷福祉会常務理事

2. ケアの場面における創意・工夫

- a. 現場ですぐに役立つテキスト(手引書)を現場でつくる 社会福祉法人啓光福祉会 啓光学園
- b. 特別養護老人ホームにおける腰痛予防の取り組み ～持ち上げない介護の実践を目指して 社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷
- c. 暑い夏を乗り越えよう! ～ひと涼みしましょうプロジェクト 社会福祉法人昭徳会 ケアハウス大阪安立
- d. 通所介護における科学的介護の実践～口腔機能向上の取り組み 社会福祉法人清和園 デイサービスセンター清和園
- e. 漬物つけたんでえ。食べてみて ～片麻痺利用者の調理活動へのチームアプローチ 社会福祉法人恭和会 ケアハウス四季が丘デイサービスセンターサンライズ

司会進行

湯川智美 氏 社会福祉法人六親会常務理事

3. 地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組み

- a. 認知症になってもこの街に住みたい 社会福祉法人寿楽福祉会 寿楽荘千里山西ヘルパーステーション
- b. 福祉と農業による地域の活性化をめざす 社会福祉法人同仁会 障害者支援施設のぞみ園
- c. 家族会を中心としたNPO法人設立による法人後見への取り組み 社会福祉法人旭川荘 睦学園、NPO法人ゆずり葉の会
- d. 生活保護受給者を自法人にて雇用の事例 社会福祉法人萬象園 救護施設萬象園
- e. 障害者地域生活支援システムの構築 ～セーフティ・ネット拠点事業と地域 生活定着支援センターの運営から 社会福祉法人同愛会 障害者支援施設 光輝舎

司会進行

斎藤弘美 氏 社会福祉法人大洋社常務理事

3度目の介護報酬改定

平成24年度介護報酬改定は、介護職員の処遇改善の確保、物価の下落傾向、介護事業者の経営状況、地域包括ケアの推進などを踏まえ、+1.2%（在宅+1.0%、施設+0.2%）という改定率となった

- 介護サービス提供の効率化・重点化と機能強化を図る観点から各サービス間の効果的な配分を行い、施設から在宅介護への移行を図る
- 24時間定期巡回・随時対応サービスなどの在宅サービスや、リハビリテーションなど自立支援型サービスの強化を図る
- 介護予防・重度化予防については、真に利用者の自立を支援するものとなっているかという観点から、効率化・重点化する方向で見直しを行う
- 介護職員の処遇改善については、これを確実にを行うため、これまで講じてきた処遇改善の措置と同様の措置を講ずることを要件として事業者が人件費に充当するための加算を行う